

EXEDY Investors Guide 2026 ～よくあるご質問と回答～

株式会社エクセディ
証券コード 7278

1. 事業について
2. 成長戦略について
3. キャピタルアロケーション・株主還元について

Q. EXEDYはどのような会社ですか？

当社は、自動車向けトルクコンバータやクラッチなどの駆動系製品をグローバルに展開しています。基幹事業で培った技術・顧客基盤・販売網を活かしながら、新事業の創出・育成を進め、中長期的な成長を目指しています。

Q. EV化によって事業への影響はありますか？

EV化の進展により、AT車向けトルクコンバータ市場は無くならないものの、中長期的に縮小していくと認識しています。ただし、MT車向けクラッチ市場への影響は限定的であり、基幹事業の収益性の維持・向上を図りつつ、アフターマーケット事業の拡大や新事業の創出・育成を進めることで、持続的な成長を目指しています。

Q. EV化が進む中で、どのように収益性を維持・向上していくのですか？

基幹事業において「適正価格」の実現を重要な経営課題と位置付けています。原材料価格やエネルギー価格の上昇分等を反映した価格改定に加え、当社製品が提供する価値に見合った適正な対価についてお客様との対話を進めています。また、生産性向上やコスト改善にも継続して取り組み、収益性の向上を図っています。

Q. 今後の成長戦略を教えてください。

基幹事業の収益力向上、アフターマーケット事業の拡大、新事業の創出・育成を成長戦略の柱としています。基幹事業で創出したキャッシュを成長分野へ投資し、事業ポートフォリオの転換を進めることで、中長期的な企業価値向上を目指しています。

Q. アフターマーケット事業を成長分野と位置付ける理由は何ですか？

世界各地に広がる販売ネットワークと、長年培ってきたブランド力、品質が強みです。MT補修品に加え、AT関連製品、ブレーキ、サスペンションなどへ取扱製品を拡大することで、さらなる成長を目指しています。

Q. 新事業ではどのような分野に取り組んでいますか？

小型電動モビリティ、商用eモビリティ、インホイールモーター、ドローン、スマートロボットなどの分野に取り組んでいます。基幹事業で培った強み及び協業で獲得した外部知見を活かし、新たな収益の柱となる事業の育成を進めています。

Q. 新事業の成長をどのように実現していくのですか？

市場性や収益性を見極めながら事業化を進めるとともに、自社開発に加えて外部との提携やM&Aも活用し、技術・人材・販路の獲得を進めています。将来の成長につながる事業へ重点的に投資し、新たな収益基盤の確立を目指しています。

Q. なぜ自己資本比率60%を適正水準としているのですか？

バランスシート項目別のリスク量、資本コスト、格付の3つの観点からの総合的判断により、当社の最適な資本構成を自己資本比率60%としました。

Q. 株主との対話は経営にどのように反映されていますか？

当社は、国内外の機関投資家をはじめとする株主との建設的な対話を重視しています。対話を通じていただいたご意見やご提案は、取締役会や経営陣で共有し、企業価値向上に向けた施策の検討に活用しています。

近年では、資本効率や株主還元に関する株主の意見も踏まえながら議論を重ね、自己資本比率60%を適正水準とする財務戦略を策定しました。今後も成長投資と株主還元の両立を図りながら、中長期的な企業価値向上を目指します。

Q. 株主還元の考え方を教えてください。

適正な自己資本比率(60%)超過分につき、資本配分の規律(成長投資&株主還元のバランス)を遵守しつつ、配当を中心に還元予定です。安定的な配当を重視するとともに、資本効率性を改善すべく、自己株式取得も機動的な実施していきます。

Q. アイシン社との資本提携解消による影響はありますか？

同社との資本提携は解消しましたが、取引関係は継続しています。現在も良好な事業関係を維持しており、当社事業への影響は限定的と考えています。

内容に関するお問い合わせ先

経営戦略推進本部サステナビリティグループ

ESG・IR推進部

072-822-1695

info@exedy.com

本資料に記載されている将来に関する記述は、作成時点において入手可能な情報に基づくものであり、今後の事業環境の変化により、実際の業績は異なる可能性があります。